

自治体職員協力交流事業で中国人研修員 12 人が日本へ！

北京事務所

自治体職員協力交流事業 (LGOTP) の概要

クリアでは、JET プログラム (語学指導等を行う外国青年招致事業) に加えて、地方自治体による主体的な国際協力を一層推進していくため、海外の地方自治体等の職員を日本の地方自治体に受け入れる際、財政面や受入実務面での支援を行う「自治体職員協力交流事業」(LGOTP) を 1996 年度から実施しています。海外の地方自治体等の職員を「協力交流研修員」として日本の地方自治体に受け入れ、地方自治体のノウハウ、技術の習得を図るとともに、受け入れ自治体の国際化施策等への協力を通じて地域の国際化を推進します。本事業は「人づくり」を通じた国際協力事業の一つであり、クリア及び総務省で、研修員の募集やあっせんなどの支援を行っています。2013 年までに 35 ヶ国から延べ 1,023 人の研修生を受け入れています。うち、中国からは、延べ 456 名の方が参加しています。

訪日歓送会

5 月 17 日、北京市内のホテルで、2014 年度の自治体職員協力交流事業 (LGOTP) により日本へ出発する中国人研修員の歓送会を実施しました。今年度日本へ派遣されるのは、陝西省や吉林省、遼寧省大連市などの地方政府職員 12 名です。観光や国際交流、農業など、それぞれの専門分野で、半年から 1 年にわたり、様々な知識や技術の習得を目指します。

北京事務所が開催した歓送会には、12 名の研修員の他、中国外交部や研修員 OB の方にもご参加いただきました。研修員の皆さんの出発に先立ち、当事務所の寺崎所長が「両国の交流の架け橋となる皆さんが日本へ出発されることを心からうれしく思っています。日本での生活を楽しみ、存分に、ご活躍ください。」と激励の言葉を送りました。続いて、中国外交部・外事管理司の王同慶副司長から、「研修員の皆さんに対して、日本の地方自治体での仕事を通じて、知識や技術を習得するだけでなく、本交流事業の促進によって日中の友好関係をさらに発展させたい。」との御挨拶をいただきました。



挨拶する王副司長



研修生を代表して李碩さんからの抱負

次に、研修員を代表して長春市の李碩さんが「日本人のまじめで厳格な仕事に対する態度や、無我な仕事精神、チームワークの意識などを学びたい。また、身につけた知識と技術を帰国後の仕事に活用できるよう一生懸命がんばります。」と力強く抱負を語ってくれました。李碩さんは、3年間の日本での留学経験があり、流暢な日本語を話していました。

また、2009年にLGOTP研修員として、木更津市に研修に行かれた中国青年国際人材交流中心の潘明宇さんから、研修にあたっての心構えや研修中のエピソードなどを披露していただきました。

歓送会の席上、研修員は、来賓の方々から激励を受けたり、過去の参加者から経験談を聞いたり、クレア北京事務所職員から日本の地方自治体の状況を聞いたり、さらには、研修員同士での会話を弾ませるなど、研修前最後の夜を楽しく過ごしました。

日本での研修

研修員は、日本に渡った後、半年から10カ月にわたり研修を受けることとなります。最初の1カ月間は、日本語の習得や日本の地方自治制度、日本文化等に対する理解を深めるための全体研修を行い、その後、事前に決められた日本各地の地方自治体（岩手県・岩手県金崎町・富山県・岐阜県高山市・静岡県浜松市・滋賀県東近江市・京都府・鳥取県・島根県・山口県・佐賀県佐賀市・長崎県佐世保市・大分県）に各自配属され、専門研修を受けることとなります。専門研修の分野は、行政、観光、環境保全、経済交流、教育、農業など多岐にわたります。

過去の参加者は、この研修で得た貴重な経験を自国で活かすとともに、日中友好の架け橋として活躍しています。また、この事業を契機として、日本の地方自治体と中国地方政府との友好交流関係の促進にも役立っています。

クレア北京事務所では、今後ともこの事業が日中双方にとって益々有意義なものとなるよう取組みを進めてまいります。



歓談の様子



全員で記念撮影

(久世所長補佐 京都府派遣)